

スクリーニングの手順

記載の有無
表紙に反映されます

あり

病院名: 社会医療法人若弘会 若草第一病院

期間: 平成26年9月1日現在

スクリーニングの項目、対象、方法、タイミング、スクリーニングした結果の確認者、スクリーニング結果の活用方法等についてご記載ください。

役職等に個人名が記載されていないことをご確認ください。

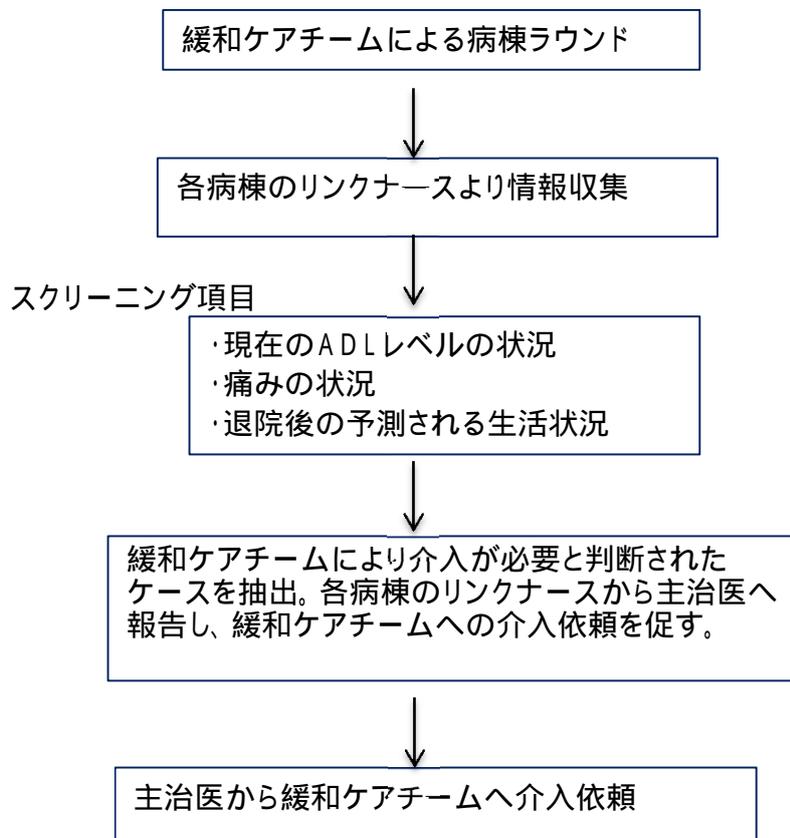
このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名を別紙15とした電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無 あり (あり・なし)

ファイル形式 パワーポイント (ワード、一太郎、リッチテキスト、エクセル、パワーポイント、PDF、その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

【緩和ケアチームによるスクリーニング】



カンファレンスシート

氏名： _____ 様 病名 _____ 入院日 H _____ 年 _____ 月 _____ 日

主治医 _____ 受け持ち看護師 _____ 記載者 _____

開催日： H _____ 年 _____ 月 _____ 日 48H, 1W, 10day, (_____) 開催回数 _____ 回目

次回開催日： H _____ 年 _____ 月 _____ 日

1. 痛みのコントロール：痛みが患者に及ぼす影響 0=なし 1=時折の、または断続的な単一の痛みで、患者が今以上の治療を必要としない痛みである。 2=中程度の痛み。時に調子の悪い日もある。痛みのため、病状から見ると可能なはずの日常生活動作に支障をきたす。 3=しばしばひどい痛みがある。痛みによって日常生活動作や物事への集中力に著しく支障をきたす。 4=持続的な耐えられない激しい痛み。他のことを考えることが出来ない。
2. 症状が患者に及ぼす影響：痛み以外の症状が患者に及ぼす影響 症状名 (_____) 0=なし 1=時折の、または断続的な単一の症状で、患者が今以上の治療を必要としない症状である。 2=中程度の症状。時に調子の悪い日もある。病状から見ると可能なはずの日常生活動作に支障をきたすことがある。 3=たびたび強い症状がある。症状によって日常生活動作や物事への集中力に著しく支障をきたす。 4=持続的な耐えられない激しい症状。他のことを考えることが出来ない。
3. 患者の不安：不安が患者に及ぼす影響 0=なし 1=変化を気にしている。身体面や行動面に不安の兆候は見られない。集中力に影響はない。 2=今後の変化や問題に対して張り詰めた気持ちで過ごしている。時々、身体面や行動面に不安の徴候がみられる。 3=しばしば不安に襲われる。身体面や行動面にその徴候が見られる。物事への集中力に著しく支障をきたす。 4=持続的に不安や心配に強くとらわれている。他のことを考えることが出来ない。
4. 患者の不安：不安が家族に及ぼす影響 家族は患者に最も近い介護者とします。 この方々は、両親であるのか、親戚、配偶者、友人であるのかコメント欄に記載して下さい。 コメント (_____) 0=なし 1=変化を気にしている。身体面や行動面に不安の兆候は見られない。集中力に影響はない。 2=今後の変化や問題に対して張り詰めた気持ちで過ごしている。時々、身体面や行動面に不安の徴候がみられる。 3=しばしば不安に襲われる。身体面や行動面にその徴候が見られる。物事への集中力に著しく支障をきたす。 4=持続的に不安や心配に強くとらわれている。他のことを考えることが出来ない。
5. 患者の病状認識：患者自身の予後に対する理解 0=予後について十分に認識している。 1=予後を2倍まで長く、または短く見積もっている。例えば2-3ヶ月であろう予後を6ヶ月と考えている。 2=回復することまたは長生きすることに自信が持てない。 3=非現実的に思っている。例：予後が3ヶ月しかない時に、1年後には普通の生活や仕事に復帰できると期待している。 4=完全に回復すると期待している。
6. 家族の病状認識：家族の予後に対する理解 0=予後について十分に認識している。 1=予後を2倍まで長く、または短く見積もっている。例：2-3ヶ月であろう予後を6ヶ月と考えている。 2=回復することまたは長生きすることに自信が持てない。 3=非現実的に思っている。例：予後が3ヶ月しかない時に、1年後には普通の生活や仕事に復帰できると期待している。 4=完全に回復すると期待している。
7. 患者と家族のコミュニケーション：患者と家族とのコミュニケーションの深さと率直さ 0=率直かつ誠実なコミュニケーションが、言語的・非言語的になされている。 1=時々、または家族の誰かと率直なコミュニケーションがなされている。 2=状況を認識してはいるが、その事について話し合いがなされていない。患者も家族に現状に満足していない。 あるいは、パートナーとは話し合っても、他の家族とは話し合っていない。 3=状況認識が一致せずコミュニケーションが上手くいかないため、気を遣いながら会話が行われている。 4=うわべだけのコミュニケーションがなされている。
8. 職種間のコミュニケーション：患者と家族の困難な問題についての、スタッフ間での情報交換の早さ、正確さ、充実度 関わっている人(職種)を明記して下さい (_____) 0=詳細かつ正確な情報が関係スタッフ全員にその日のうちに伝えられている。 1=主要スタッフ間では正確な情報伝達が行われる。その他スタッフ間では不正確な情報伝達や遅れが生じる事がある。 2=管理上の小さな変更は、伝達されない。重要な変更は、主要スタッフ間でも1日以上遅れて伝達される。 3=重要な変更が数日から1週間遅れて伝達される。例：退院時の病棟から在宅担当医への申し送りなど。 4=情報伝達が更に遅れるか、全くない。他のどのようなスタッフがいつ尋ねているのかわからない。
9. 患者・家族に対する医療スタッフのコミュニケーション：患者や家族が求めた時に医療スタッフが提供する情報の充実度 0=すべての情報が提供されている。患者や家族は気兼ねなく尋ねることが出来る。 1=情報は提供されているが十分理解されていない。 2=要求に応じて事実は伝えられるが患者や家族はそれより多くの情報を望んでいる可能性がある。 3=言い逃れをしたり、実際の状況や質問を避けたりする。 4=質問への回答を避けたり訪問を断る。正確な情報が与えられず、患者や家族を悩ませる。

